

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2373 号

Evaluation of switching low-dose inhaled corticosteroid to pranlukast for step-down therapy in well-controlled patients with mild persistent asthma

(軽症持続型喘息の治療ステップダウンにおけるプラナルカストの有用性に関する臨床的検討)

原田 園子 (はらだ そのこ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、低用量吸入ステロイド薬単剤で3ヶ月以上症状の安定した軽症持続型喘息患者において、低用量吸入ステロイドからロイコトリエン受容体拮抗薬であるプラナルカストへの治療ステップダウンが有用であることを明らかにした。本論文では低用量吸入ステロイドによりコントロール良好な軽症持続型喘息患者は少なくとも6ヶ月間は安全にプラナルカストに変更できることを示したことの意義は大きい。喘息治療ガイドラインでは喘息コントロールが良好な状況では、治療薬剤の減量すなわちステップダウンが推奨されているが、治療ステップダウンに対する明確な方法は示されておらず、エビデンスも乏しい。ロイコトリエン受容体拮抗薬は吸入ステロイド薬に比べ、ジェネリック医薬品の存在もあり、価格が安く、副作用が少なく、また、吸入薬に比べ内服薬はアドヒアランスが良好との報告もある。軽症持続型喘息患者において低用量ステロイドからプラナルカストに切り替えられることを示したことは臨床的意義が大きい。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。